

会員近況



東海大学教授
短大情報処理工学コース 関 英男

落ちこぼれが消滅 わたくしは数年来 Suggestology とその応用であるところの Suggestopedia の研究に没頭しております。後者は暗示(Suggestion)と教授法(Pedagogy)を意味する新語です。俗にいう学習50倍加速法です。たまたま昭和54年4月より久しぶりに教壇に立ち、情報処理工学概論を180名の学生に教えることになりました。そこで前記の加速学習法を約3カ月間テストして、期末試験の統計をとってみましたところ、いちじるしい効果が認められました。そのうえ、男女の性別や東京と地方の出身別の傾向等興味ある結果が出ましたが、要約するとこんなことになります。普通在来の講義方法(ノート式)ですと、平均的學生グループと優等生グループと落ちこぼれグループの3群がカーブの上に歴然と示されます。これに新法を適用しますと、落ちこぼれグループが完全に消滅して、他の2群の平均成績も向上します。今後この研究をつづけてみたいと思っておりますが、ORの手法を加えれば、将来教育革命につながるものと信じています。

東京大学医学部
病院情報処理部 開原 成允

医療情報学の認知を 臨床医学を専攻したのですが、卒業後10年頃から診療の実務を離れ、病院の計算機センターのお世話をしながら医療情報学の研究に携わっています。診療はしませんが医学をやめたわけではなく、私の今やっていることも医学の重要な一部分だと思っているのですが、まだ、この部分は成立して日が残く、なかなか他の人に理解されないのが残念なところです。

医学は応用科学であり、最終的には実地に役立たなければ何の価値もありません。これは医療情報学も同様です。医学上の意思決定の問題を人工知能の手法を使ってアプローチすること、医療のさまざまな部分のシミュレーションモデルを作ることを研究テーマとしていますが、なかなか実際に使えるようにならないで悩んでいます。

1980年10月には MEDINFO とよばれる世界医療情報学会が東京で開かれます。こうした学会を開くのもこの分野を認知してもらうのに必要と思いいその準備にはげんでいます。

東京芝浦電気
商品試験所 金子 昭彦

官能検査のOR的解決 軽電セクターの中の一部門で、事業部・工場から新製品が消費者にわたるまで、製品として問題がないか、企画から量産試作に至るまでの商品性をチェックする職場に勤務しております。マイコン付きの家電品が多く市場に出回っており、消費者にはますますブラックボックス化していく商品をユーザーの立場に立って物を見るということは、今後さらに重要になっていくと思われます。最近、音質等の官能検査関係の仕事をしていますが、OR的解決ができず、暗中模索の状態です。官能検査を主体とした研究会があれば教わりたいたいと思っております。今後とも、よろしくご指導のほどお願いします。

岡田経営コンサル
ティングビューロー自営 岡田 隆雄

中小企業とくに零細企業にもORを…… という目的をたて、会社員生活にさよならをつけ「岡田経営コンサルティングビューロー」を開設し来年でもう10年になります。創設時代の苦労はありましたがここ4～5年にどうやら目的を達成し、今では約25社の経営コンサルタントとして毎日を時間単位のハードスケジュールに追われ、また自分の意思をつらぬくため、わが党の士18名を集めて「オカダセミナーズ」を主宰して充実した毎日を送っております。

現在経営コンサルタントと称する人々の90%以上は経理畑出身者です。私はORと経理との両立をはかったのです。

過去の経理 DATA →統計等の手法による分析→ORの考え方の導入→改善手法の選択(予測, VA, QC…等)→実行可能解の発見→改善の実施→経営の安定化→経理 DATA の作成。

さらにフィードバックによるシミュレーションの実施。これが私のビューローの仕事なのです。経理マンがORに近づくことには困難な実状より、ORマンによる経理の征服をしてはいかがでしょうか？